

鏡視下腎摘除術クリニカルパス

氏名

	入院日	手術前日	手術当日手術前	手術当日手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7・8日目	
日付け	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
食事	腸に食物が残りにくい食事が出ます。病院食以外食べないでください。手術前日は21時以降飲食できません。  		飲食できません。 		診察後飲水が出ます。 夕方からお粥と軟らかい食事が出ます。 	普通食が出ます。水分は1日1000mLを目安に飲んでください。  						
安静	制限はありません。 			ベッド上で安静になります。 	診察後は病棟内を歩くことができます。 	制限はありません。 						
清潔	入浴ができます。 					創からの管が入っている間は身体を拭きます。創からの管が抜けた翌日から入浴ができます。 						
排泄	尿は蓄尿袋にためます。			尿管が入ります。		尿管が抜けたら尿を蓄尿袋にためてください。						
検査	採血・畜尿検査提出 					採血・レントゲン  			採血・畜尿検査提出 			
診察	医師が毎朝診察に伺います。 											
	日中と夕方検温します。 		手術後は3時間毎に検温します。2日目の朝以降は起床時・午前中・夕方に検温します。 				午前中と夕方に検温します。 					
処置	臍の掃除をします。眠前に下剤を飲みます。 		朝浣腸をします。		血栓予防器具がつきます。(翌日に外れます) 吸入を手術当日夜と翌日朝に行います。 歩行ができれば尿管を抜きます。 術後創に管が入ります。創からの排液の量で抜去します。							
観察	尿の色と量を確認します。			下肢の動き・感覚が戻っているか、お腹の動きやおならや排便等の状態を確認します。 イキミ症状・尿管の固定具合を確認します。 創部の管からの出血や浸出液を確認します。 創痛の確認をします。				創痛の確認をします。 尿の色と量の確認をします。 創部からの管や創部の観察をします。				
薬物	薬剤師が今まで飲んでいた薬の確認をします。 		手術当日朝から2病日まで点滴があります。手術後から翌日朝まで腰からの痛み止めがあります。痛みがあるときは痛み止めを使用します。 				痛みがあるときは痛み止めを使用します。 					
指導・説明	入院や手術について説明します。 		術後に注意することなどの説明をします。				退院後の生活について説明します。					
目標	入院中や手術のスケジュールが分かる。 蓄尿ができる。			安静が守ることができる。 痛みなどの症状が軽減できる。		安静解除後歩行ができる。 尿管抜去後排尿がある。蓄尿ができる。 食事開始後食事摂取ができる。 痛みなどの症状が軽減できる。			蓄尿ができる。 食事が摂取できる。 痛みなどの症状が軽減できる。			退院後の注意事項が分かる。